

別記様式第11号（第8の5関係）

砂糖供給安定化緊急対策事業に関する事業評価票（再）

事業実施主体名	事業実施工場名	事業実施年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	基金管理団体の意見	
				目標値	基準年 (計画策定時)	目標年				達成率
						使用量 (又は供給可能数量)	削減率 (又は増加率)			
三井製糖 及び J A 三井リー ス	三井製糖 千葉工場	平成25年度	エネルギー使用量 を1.0%削減	1.0%	(平成22～24年) 26,423k1	(平成27年) 26,045k1	1.43%	143%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裾物分離機の導入</li> <li>・三温分離機コンバーターの導入</li> <li>・上白小袋ライン異物検出器の導入</li> <li>・事務棟空調機の導入</li> <li>・吊下分離機インバーターの導入</li> <li>・結晶缶の導入</li> </ul>	手続きも要綱・要領に従って行われており、エネルギー削減率も目標の1.0%に対して1.43%と143%の削減率で達成しており、事業は適切に実施されたと考える。
	三井製糖 神戸工場	平成25年度	エネルギー使用量 を1%以上削減	1.1%	(平成22～24年) 33,960k1	(平成27年) 22,203k1	34.62%	3147%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次ろ過機の更新</li> <li>・上白糖分離機モーターインバーターの導入</li> </ul>	手続きも要綱・要領に従って行われており、エネルギー削減率も目標の1.0%に対して34.6%と3147%の削減率で達成しており、事業は適切に実施されたと考える。
	三井製糖 福岡工場	平成25年度	エネルギー使用量 を1%以上削減	1.0%	(平成22～24年) 7,117k1	(平成27年) 6,643k1	6.66%	666%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明、動力変圧器の更新</li> <li>・結晶缶の更新</li> <li>・クリスタライザー導入</li> <li>・製品分離機インバーターの導入</li> </ul>	手続きも要綱・要領に従って行われており、エネルギー削減率も目標の1.0%に対して6.6%と666%の削減率で達成しており、事業は適切に実施されたと考える。
日新製糖 及び 三井住友ファイ ナンス& リース及び関 電エネルギー ソリューション	日新製糖 今福工場	平成25年度	エネルギー使用量 を1.2%削減	1.20%	(平成22～24年) 9,674k1	(平成27年) 8,760k1	9.45%	788%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイラーの導入</li> <li>・湿糖エレベーター・駆動モーター導入</li> <li>・結晶缶攪拌機の導入</li> <li>・グラ振動コンベアの導入</li> </ul>	手続きも要綱・要領に従って行われており、エネルギー削減率も目標の1.22%に対して9.45%と788%の削減率で達成しており、事業は適切に実施されたと考える。
伊藤忠製糖 及び 東京センチュ リーリース	伊藤忠製糖 本社工場	平成25年度	エネルギー使用量 を1.1%削減	1.10%	(平成22～24年) 19,967k1	(平成27年) 17,962k1	10.04%	913%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・液糖出荷紫外線殺菌設備の導入</li> <li>・マグマミングラーの更新</li> <li>・分離機インバーター設備の導入</li> <li>・ポンプ用インバーターの導入</li> <li>・イオン交換樹脂塔の更新</li> <li>・計装コンプレッサーの導入</li> <li>・粒状活性炭再生炉の導入</li> <li>・空調用冷凍機の導入</li> <li>・甘水農集装置の導入</li> </ul>	手続きも要綱・要領に従って行われており、エネルギー削減率も目標の1.1%に対して10.04%と913%の削減率で達成しており、事業は適切に実施されたと考える。

事業実施主体名	事業実施工場名	事業実施年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	基金管理団体の意見	
				目標値	基準年 (計画策定時)	目標年				達成率
						使用量 (又は供給可能数量)	削減率 (又は増加率)			
近畿食糧及び東京センチュリーリース	近畿食糧本社工場	平成25年度	エネルギー使用量を1%以上削減	1.41%	(平成22～24年) 355k1	(平成27年) 352k1	0.85%	60%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高圧受電装置の導入</li> <li>・分離機の導入</li> <li>・ボイラー集中監視システムの導入</li> </ul> <p>手続きは要綱・要領に従って行われている。エネルギー削減率は目標の1.41%に対して0.85%であるが、これは諸般の事情によりエネルギー低消費製品から高消費製品への生産転換を余儀なくされたことによるものであり、もし、生産変更を行っていないれば、工場全体のエネルギー使用量では約8%減少となっていることから、本事業については適切に実施されたと考える。</p>	
中日本水糖及びJ A三井リース	中日本水糖南農工場	平成25年度	エネルギー使用量を1%以上削減	1.20%	(平成22～24年) 2,156k1	(平成28年) 2,773k1	-28.62%	-2385%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスタル製造機の導入</li> </ul> <p>(再評価)平成27年度から6.1ポイントの削減を図ることが出来ているものの、基準年比で28.62%の増加となり、目標達成には至っていない。 これは、基準年に比べ、①生産量の増加、②エネルギー少消費製品から多消費製品への生産転換、③製品の再溶解量の大幅増加等に伴い、工場全体のエネルギー消費量が増加したことが要因であるが、本事業で新設備を導入したことにより、旧設備に対し6.4%のエネルギー削減を図ることが出来ていることから、事業は適切に実施され、一定の成果があったと考える。</p>	
第一糖業及び東京センチュリーリース	第一糖業本社工場	平成25年度	エネルギー使用量を1.2%削減	1.20%	(平成22～24年) 8,995k1	(平成27年) 7,629k1	15.19%	1266%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気コンプレッサーの導入</li> <li>・裾物結晶缶攪拌機の導入</li> <li>・パケットエレベーターの導入</li> <li>・高圧進相コンデンサーの導入</li> <li>・グラ分離機インバーターの導入</li> </ul> <p>手続きも要綱・要領に従って行われており、エネルギー削減率も目標の1.2%に対して15.19%と1266%の削減率で達成しており、事業は適切に実施されたと考える。</p>	
太平洋製糖及び芙蓉総合リース	太平洋製糖工場	平成25年度	エネルギー使用量を1%以上削減	1.84%	(平成22～24年) 19,052k1	(平成27年) 18,046k1	5.28%	287%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分離機インバーターモーターの導入</li> <li>・LED照明器具の導入</li> <li>・パッケージボイラーの導入</li> <li>・炭酸ガス飽充槽の導入</li> <li>・クリスタライザーの導入</li> <li>・シュガーサイロの導入</li> <li>・バロメトリックコンデンサーの導入</li> <li>・排水曝気ブロワの導入</li> <li>・回収温水タンクの導入</li> <li>・糖蜜タンクの導入</li> <li>・キルン循環ブロワモーターの導入</li> <li>・洗糖蜜加温熱交換器の導入</li> <li>・シスタンプブロワの導入</li> </ul> <p>手続きも要綱・要領に従って行われており、エネルギー削減率も目標の1.84%に対して5.28%と287%の削減率で達成しており、事業は適切に実施されたと考える。</p>	

事業実施主体名	事業実施工場名	事業実施年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	基金管理団体の意見	
				目標値	基準年 (計画策定時)	目標年				達成率
						使用量 (又は供給可能数量)	削減率 (又は増加率)			
新東日本製糖及び三菱UFJリース	新東日本製糖工場	平成25年度	エネルギー使用量を1%以上削減	1.04%	(平成22～24年) 37,716k1	(平成27年) 33,355k1	11.56%	1112%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラニュー糖ミキサーの導入</li> <li>・マグマミングラーの導入</li> <li>・蒸気タービンガバナの電子化</li> <li>・パレット搬送機の導入</li> <li>・ボイラーエコノマイザーの導入</li> <li>・チェックフィルターの導入</li> <li>・ボイラー純水装置の導入</li> <li>・砂糖集塵機の導入</li> <li>・結晶缶攪拌機駆動部の更新</li> </ul>	手続きも要綱・要領に従って行われており、エネルギー削減率も目標の1.04%に対して11.56%と1112%の削減率で達成しており、事業は適切に実施されたと考える。
関西製糖及び興銀リース	関西製糖工場	平成25年度	エネルギー使用量を1%以上削減	1.28%	(平成22～24年) 12,672k1	(平成27年) 11,874k1	6.30%	492%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吊下分離機のインバーター化</li> <li>・スクリー式コンプレッサーの導入</li> </ul>	手続きも要綱・要領に従って行われており、エネルギー削減率も目標の1.04%に対して6.30%と492%の削減率で達成しており、事業は適切に実施されたと考える。
関門製糖及び三菱UFJリース	関門製糖工場	平成25年度	エネルギー使用量を1%以上削減	1.13%	(平成22～24年) 13,178k1	(平成27年) 13,244k1	-0.5%	-44%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠心分離機の更新</li> <li>・結晶缶の更新</li> <li>・真空ポンプの導入</li> <li>・金検チェッカーの導入</li> </ul>	手続きは要綱・要領に従って行われている。エネルギー削減率は、目標の1.13%に対して0.5%のプラスとなっているが、これはエネルギー使用量の多い製品の再溶解量が基準年の約2.3倍に増加したことが要因となっており、もし基準年と同レベルの再溶解量であれば、工場全体のエネルギー削減量は3.4%となり、目標をクリアしていることから、本事業については適切に実施されたと考える。
和田製糖及び芙蓉総合リース	和田製糖江戸川工場	平成25年度	エネルギー使用量を1%以上削減	1.79%	(平成22～24年) 10,961k1	(平成27年) 9,739k1	11.15%	623%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多缶式貫流ボイラーの導入</li> <li>・包装場空調設備の導入</li> <li>・パレット洗浄機の導入</li> </ul>	手続きも要綱・要領に従って行われており、エネルギー削減率も目標の1.79%に対して11.15%と623%の削減率で達成しており、事業は適切に実施されたと考える。
大東製糖及び三菱UFJリース	大東製糖本社工場	平成25年度	エネルギー使用量を1%以上削減	1.01%	(平成22～24年) 1,040k1	(平成27年) 1,045k1	-0.48%	-48%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金検重量チェッカーの導入</li> <li>・粉砕機の導入</li> <li>・乾燥機の導入</li> <li>・除湿器の導入</li> <li>・粉体自動充填機の導入</li> </ul>	手続きは要綱・要領に従って行われている。エネルギー削減率は目標の1.01%に対してプラスの0.48%であるが、これは工場全体の生産量が基準年に比べて約11%増加したことによるエネルギー使用量の増加が原因であり、工場全体の生産量当たりのエネルギー使用量(原単位)では約10%減少となり、目標値をクリアしていることから、本事業については適切に実施されたと考える。

事業実施 主体名	事業実施工場名	事業実施年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	基金管理団体の意見	
				目標値	基準年 (計画策定時)	目標年				達成率
						使用量 (又は供給可能数量)	削減率 (又は増加率)			
上野砂糖及び 三井住友ファイナンス& リース	上野砂糖 本社工場	平成25年度	エネルギー使用量 を1%以上削減	2.17%	(平成22~24年) 313k1	(平成27年) 262k1	16.3%	749%	・LED照明設備の導入	手続きも要綱・要領に従って行われており、エネルギー削減率も目標の2.17%に対して16.25%と749%の削減率で達成しており、事業は適切に実施されたと考える。
徳倉及び興銀 リース	徳倉 東金工場	平成25年度	エネルギー使用量 を1%以上削減	1.04%	(平成22~24年) 356.97k1	(平成28年) 380.26k1	-6.52%	-627%	・空気圧縮機の導入	(再評価) 基準年時になかった生産ラインの増設により生産量が増加したことで平成27年度同様、平成28年度も基準年比で工場全体のエネルギー消費は増加した。生産量当たりのエネルギー使用量(原単位)では平成27年度の0.3%の増加から0.98%の削減と改善されたものの、目標値の1%には僅かに届かなかったが、今回の生産増の要因である増設ラインを除く既設ライン同士の生産量当たりのエネルギー使用量(原単位)では、平成27年度の0.8%の削減から1.02%の削減と改善されており、目標値である1%以上の削減を達成していることから、事業は適切に実施されたと考える。
						(平成27年) 383.69k1	-7.48%	-719%		
宮崎商店及び 興銀リース	宮崎商店 本社工場	平成25年度	エネルギー使用量 を1%以上削減	1.01%	(平成22~24年) 123.05k1	(平成28年) 127.43k1	-3.56%	-352%	・フォークリフトの更新	(再評価) 基準年時に比べ生産量が約10%増加したことにより、平成27年度同様、平成28年度も工場全体のエネルギー消費は増加しているところであるが、生産量当たりのエネルギー使用量(原単位)では平成27年度の対基準年比1.8%増から平成28年度は4.5%減と大幅に改善され、目標値である1%以上の削減を達成していることから、事業は適切に実施されたと考える。
						(平成27年) 137.25k1	-11.54%	-1143%		

(注) 「基準年」及び「目標年」の欄について、成果目標がエネルギー使用量の削減の場合はエネルギー使用量(単位:k1)及びその削減率を記入し、防災機能の強化の場合は緊急災害時供給可能数量(単位:l)及びその増加率を記入する。